

## 良いところ(金久地区)

### 地域のつながり・交流

- 隣近所での声かけやあいさつが活発
- 高齢者と子どもたちが一緒にイベント(ハロウィン、豆まきなど)を楽しんでいる
- 顔見知りが多く、安心感がある
- 自治会がコンパクトで参加が強制ではなく、配慮されている
- 地域行事(夏祭り、六月灯、奄美まつりパレードなど)が盛ん
- 老人会や婦人会の活動があり、地域のつながりがある
- 屋仁川見守り隊や青パトによる子どもの見守り活動

### 高齢者・子育て支援

- 元気な高齢者が多く、地域活動に積極的
- 子ども食堂を自主的に運営
- 健康教室や体操教室が開催されている
- 高齢者が体操教室に積極的に参加している

### 自然・生活環境

- 公園に桜や梅が植えられており、季節の花が楽しめる
- 津波避難ビルがある
- ゴミが少なく、清掃活動が自主的に行われている
- 街灯があり、昼夜の安全が確保されている
- 公共交通機関(バス・タクシー)の便が良い
- スーパー、文化センター、銀行、教会などが近くにあり便利
- 自然に囲まれた環境(海・山)

## 困っているところ

### 高齢化・孤立

- 高齢者や単身者が増加し、見守りが必要
- 若者が少なく、顔が分からない
- 一人暮らしの青壮年も多く、孤立予備軍がいる
- 家から出られない高齢者が増えている

### 自治会・地域活動の課題

- 自治会がない地区がある
- 民生委員が不在の地域がある
- 自治会役員の担い手が固定化し、辞めづらい
- 若者と高齢者の話し合いの場がない
- 地域行事が少なく、一体感が育ちにくい

### 空き家・環境問題

- 空き家が多く、住民の顔が見えない
- 路肩の雑草が放置されている
- 公園が活用されていない
- ゴミ出しのルールが守られていない
- 猫の問題や交通マナーの悪さ

### 交通・インフラの課題

- 歩道の段差が分かりづらく危険
- バスの便が少ない
- 消火栓が届かない場所があり、火災時に不安
- 防災放送が聞こえない家庭がある

### 買い物・利便性の低下

- 近くにスーパーがなく、買い物が不便
- 子どもたちが外で遊べる場所が少ない

### 自分たちでできること

- ゴミ拾いや清掃活動を定期的に行う
- 小さな自治会をつくる
- イベント(防災、清掃など)を企画する
- 街灯代をイベントで補う
- 高齢者との体操や交流の場をつくる
- 見守りや声かけを続ける
- 地域で必要なボランティア活動に参加する
- 歴史的建物を大切にする
- 子どもたちへのあいさつや見守り
- 地域体操教室への参加呼びかけ
- PTA 活動と地域活動の連携
- 簡単な買い物支援や庭の手入れ
- お茶会などで困りごとを聞く場をつくる

### 行政に求めること

- 空き家の解体や草刈りの実施
- 防災無線や光るインターホンの設置
- 高齢者への交通支援(タクシー・バスチケット)
- ボランティア募集の掲示・HP の整備
- 地域住民が気軽に参加できるイベントの企画

- 民生委員・自治会がない地域への支援
- 申請書類の簡素化と補助金制度の周知
- 避難経路の草刈り優先実施
- 公園の整備(ボール遊びの安全確保など)
- 市・県・国道の路肩雑草の除去
- 地域住民との意見交換会の開催
- タウンミーティングやアンケートによる課題把握

### その他意見

- 小さなことでも取り上げられる金久地区
- 生涯学習ができる、学び合える地区
- 隣近所を思いやれる、気軽に声をかけ合える地区
- 若者も高齢者も共に行事に参加し、つながりを深める地区
- 「住んで良かった」と思える、古くて新しい町

## 地域の良いところ(伊津部地区)

### 美化・清掃活動

- ゴミ収集場がきれい
- 公園の草刈りや清掃活動を各自で実施
- 緑地公園で「クリーン大作戦」実施(子どもも参加)
- 伊津部小学校と自治会で朝日公園に花を植えている
- 美化活動が定期的に行われ、コミュニケーションの場にもなっている

### 健康・交流活動

- 健康意識の高い住民が多く、散歩やランニングをしている人が多い
- 火の用心活動(当番制)
- 月2回、体操教室やおしゃべり・歌などの交流
- 自治会主催のグラウンドゴルフ大会を定期開催
- 誰でも参加できるスポーツ企画(モルックなど)を協議体で検討中

### 地域のつながり・支援

- 自衛隊官舎ができて人が増えた
- 季節ごとのイベント(子どもから高齢者まで楽しめる)
- 手作りの祭りを住民全員で開催
- 佐大熊港で舟こぎ大会
- 子ども食堂
- 里親活動の受け入れ、育児支援の拠点の一つ
- 高齢者が相談できる場所がある
- 台風時に避難させてもらった経験あり
- 入院状況の一報が入り、助け合いがある
- 長年住んでいる住民が多く、表に出ていないが助け合いがある
- 駄菓子屋の存在、子どもの「かけこみ小屋」

### 住民の関係性・コミュニティ

- 昔なじみの人同士で挨拶できる間柄
- 隣近所との情報交換がある
- 程よい距離感で心地よい関係性
- 地域健康教室が継続されている
- コロナで止まっていた敬老会が再開
- 誰かが掃除していると、他の人も自然と参加する雰囲気

### 立地・利便性

- 病院、学校、保育所が徒歩圏内
- バスが通っている
- 小浜町にお店がある

- 消防署が近くにある
- 海が見える(近い)
- スーパー、郵便局、銀行、病院、量販店へのアクセスが良好
- 公園が多く、大きなものもある
- 自営業者が多い
- 年中通して野鳥や野生生物の鳴き声に癒される

## 地域の困りごと

### 交通・移動の不便さ

- 高齢者にとってお店まで歩いて行けない
- バスが利用しにくい(行きは良くても帰りは乗り継ぎが必要)
- 車を持たない世帯が多い

### 住環境・住宅の課題

- 近くに集会所がない
- 危険家屋が多い
- 階段のある住宅が高齢者にはつらい
- エレベーターがない住宅が多く、高齢者にとって負担
- 引っ越したくても高齢者は手続きが難しく、金銭的な余裕もない

### 高齢化・福祉の課題

- 高齢者が多いが、集まる場所がない
- ゴミ出しのルールが分かりにくく、高齢者には理解しづらい
- 安定した食事提供(出前など)を望む声がある

### 安全・防災面の不安

- 街灯がなく暗い場所がある
- 公園が荒れている
- 山手の自宅では土砂災害の危険がある

### 地域コミュニティの課題

- 自治会がない、または自治会長の後任が見つからない
- 引き受けてくれる人がいない
- 近所づきあいの減少
- 隣の人とあまり話さない
- 住民の高齢化が進んでいる
- 自衛隊や教員などは2~4年で入れ替わるため、地域活動に主体的に関わりにくい

## イベント・活動の課題

- グラウンドゴルフ開催の話はあるが、日程が決まらない
- イベントの実施が難しくなっている
  - 実行委員の確保が困難
  - リスク管理が必要
  - 住民の多様性に対応しづらい

## 商業施設・利便性の不足

- 団地内にちょっとしたお店がない
- 住民が座って話せる椅子が少ない

## 行政に求めること

### 地域活動・自治会支援

- 民生委員の欠員がある
- 民生委員をローテーションできる仕組みを作ってほしい
- 自治会運営の立て直しを行政が支援してほしい(最初の一步を)
- 小さい自治体をまとめて対象地区を広げて活動してみても
- PTAなどの役目を引き継ぐ仕組みづくり(同じ人ばかりが役目を担っている)
- 港町で自治会があった頃のように、住民交流を促進してほしい

### イベント・交流促進

- 自衛隊も巻き込んで、子育て世代を含めたイベントや集まる機会を作ってほしい
- 奄美まつりなどの協賛は、寄付だけでなく人材派遣も含めてほしい
- 奄美市のイベントに地域・民間からも動力を出してもらおう
- 行政と地域で意見交換・情報共有の機会を設けてほしい

### 生活環境・インフラ整備

- 街灯の設置(暗い場所がある)
- バーベキューができる場所の整備(水道の設置も含む)
- 新川沿いの道路が危ないため改善してほしい
- 佐大熊住宅の建て替えを進めてほしい
  - 若い世代の流入による地域活性化につながる可能性
- 小さくてもよいのでお店を設置してほしい
  - 集いの場、安否確認、物資調達の拠点になる
  - 例:佐大熊平井ストア跡地に居抜きで新店舗を

### 交通・移動支援

- バスの標示を見やすくして、利用率を上げてほしい
  - 駐車場の可視化(どこを通るか分かるように)
- 買い物などの移動支援バスの導入

- 健康維持している高齢者が楽しみながら活動できるよう、ポイント制度などのサポート

#### 働き方・制度改革

- 公務員の副業を認めてほしい
- 有償ボランティアの導入

### 自分たちにできること

#### 地域の美化・安全活動

- ゴミを捨てない、きれいな街づくりを大人も子どもも一緒に考える
- グリーンロードに花をいっぱい植える
- 街灯を一つずつ設置していく
- ハブが出る地域なので、近所の人々がハブを捕まえる役割を担っている

#### 近所づきあい・見守り

- ご近所さんの様子を確認する
- 通学中の子どもたちに声かけをする
- 近所の付き合いを大事にしたい
- 顔の見える関係をつくるため、地域行事に参加・運営する

#### 地域活動・協力

- 地域食堂に時々協力したい
- バーベキュー大会(1月)などのイベントを町内会単位で実施
- 情報交換会を開催(民生委員・行政・事業所などと連携)

#### 情報共有・地域力向上

- 社会資源を開発していきたい
- 人のこと、町のこと、困りごとなどの情報を共有する
- 住民による調査・把握・対応(フォーマル・インフォーマル両面で)
- 同世代(40~50代)を増やしたい

### その他の意見・気づき

- 持ち回り制でみんなで役割を分担することで、さまざまな視点が入る
- 人手不足が進むと、将来的には市役所から人材を派遣しなければならないのではという懸念
- 経済的に厳しい状況だからこそ、お互いに助け合うことが大切
- 豊かな人は個々で問題を解決できてしまうため、地域のつながりが希薄になる可能性

## 地域の良いところ(奄美地区)

### イベント・交流

- 鯉のぼり、駅伝、子ども着ぐるみなど、他地域とは異なるユニークなイベントがある
- イベントを通じて顔見知りが増え、人間関係が広がる
- 子どもまつり・秋まつりなど、新川ふれあい館を中心に子どもから大人まで参加できる行事がある
- 月2回、高齢者が体操やグラウンドゴルフを通じて健康づくりと交流をしている
- 初めての防災訓練に20名以上が参加し、防災意識が高まった
- 老人クラブ活動が活発で、自然に囲まれた環境で元気に過ごしている

### 高齢者とのふれあい

- 近所に一人暮らしの80代の方がいて、ふれあいの機会がある
- 高齢者が多いが、みんな明るく、よく声をかけてくれる

### 生活利便性

- 学校、病院、図書館、郵便局などが近くにある
- 近所に小規模な商店があり、地域の人が買い物に利用している
- 個人病院が多く、医療面でも安心

### 地域と学校の連携

- 学校行事に地域の人が多く参加している
- 地域支え合い活動やふれあい食堂が広がっている
- 保育所や福祉施設もイベントに参加している
- 元警察官の方が毎朝交通整理をしてくれている

### 自然・文化・歴史

- 自然との共存、地産地消を大切にしている
- 歴史や先人の志を大切に、「隣組」「支え合い」などの文化が残っている
- 認知症の方への見守り活動も行われている

### 地域のつながり

- 市民の声が行政に届けやすいと感じている
- 親子両方に関わることで、家庭環境が見える
- 子どもたちに関わることで、社会教育の一環になっている
- 文教住宅地で、住民が穏やかに暮らしている

## 地域の困りごと

### 高齢化・孤立

- 福祉サービスにより高齢者の在宅頻度が減り、地域で見かけなくなった
- 高齢者が多く、地域に子どもが少なくなっている
- 独居老人が増えている(特に小俣地区など山手の地域)

- 高齢者や一人暮らしの人が増え、見守りが必要
- 地域の祭りや行事の実施が困難になっている

#### **自治会・地域活動の課題**

- 自治会がない地域がある
- 自治会の役員のなり手がいない
- 若い人が自治会活動に参加しにくい
- 自治会がなくなっても住民に危機感がない
- 自主防災組織がつかれない環境
- 防災訓練への参加者が少ない
- 月1回の市民清掃日の参加者がいつも同じメンバーで、子どもの参加が少ない
- 町内会や老人クラブの活動が衰退している

#### **支援・福祉の不足**

- 民生委員が不在の地域がある
- 困っている人(貧困・障害など)への専門的な支援が不足している
- 自分の困りごとを訴えやすい環境が必要
- 公助・共助・自助の選択がしづらく、窓口が不明瞭

#### **商業・生活利便性の低下**

- 地域にお店がなくなり、買い物が不便
- 小売雑貨店が減り、歩いて行ける場所が少ない
- 昔ながらの商店が消えてしまった
- 5~6人が集まれる場所がない
- 地区住民の寄り合い場所として「新川ふれあい館」の活用案が欲しい

#### **交通・インフラの課題**

- バスの便が少ない
- 防災無線が聞き取れず、災害時の連絡が届かない不安がある

#### **空き家・環境の問題**

- 空き家が多い
- 放置された回転灯やバイクなどがある

#### **地域意識の希薄化**

- 集合住宅では住民同士のつながりが薄い
- 故郷としての認識を持ってもらえるようにしたい
- 市街地で独立しやすい環境で、地域とのつながりが弱い

## 行政に求めること

### 高齢者・子育て支援

- 高齢者が公園で体を動かせるよう、ベンチなどくつろげる設備を整えてほしい
- 親子で遊べる公園が少ない(久里町など)ため、整備してほしい
- 子育て世代や高齢者が交流できる場の整備を希望

### 地域施設・空き家活用

- 町別に集会場が欲しい(大きくなってよい)
- 空き家をリフォームして貸し出し、お茶会場などに活用してほしい
- 新川ふれあい館のような寄り合い場所の整備案が欲しい

### 駐車場・交通インフラ

- 駐車場が少なく、車を停める場所がないため、広い駐車場を整備してほしい
- バス停の表示を見やすくして、利用率を上げてほしい
- 小俣奥方面の道路が狭く、緊急時の対応に不安がある

### 公園・道路・安全対策

- 広場や公園の整備・維持が不十分で、子どもの遊び場が少ない
- 雑草の除去や歩道の整備(狭くて危険、視界が悪い)
- ガードレールの不備への対応
- 道路に街灯がなく、暗い地域があるため安全対策が必要
- 車侵入禁止の表示を分かりやすくしてほしい
- 外に時計がないため、子どもたちが困っている

### 空き家・放置物の対処

- 空き家や壊れそうな家の放置に対して、行政が声かけ・対処してほしい
- 放置された自転車などは期限切れ後すぐ撤去してほしい

### 地域連携・情報共有

- 民生委員のなり手がいないため、地域の人と一緒に考えてほしい
- 行政の取り組みが地域住民に届くのが遅く、改善を期待
- クルーズ船の入港を奄美市民で共有できる体制づくり
- 久里側からおがみ山に登るルートの整備が必要

### 教育・施設活用

- 児童数が減少しているため、校舎の活用を検討してほしい(奄美小学校)

### 市政運営への期待

- 長期的なビジョンと戦略を持って市政を進めてほしい
- 市民ファーストで物事を推進してほしい
- 自分たちを守ろうとしている姿勢を感じられる行政を望む

## 自分たちでできること

### 日常の中でできる活動

- 散歩を兼ねて地域防犯活動を行う
- 小人数での見守りや清掃活動
- 市民清掃への参加、周りの人へ参加を促す
- 公園の手入れや放置自転車の撤去の手伝い

### 高齢者支援・見守り

- ひとり住まいの高齢者の見守り
- 安否確認や夕方を見守り活動(帰宅時の声かけなど)
- 高齢者グループ(10人程度)で月1回のお食事会を継続
- 独居老人の楽しみをつくる
- 健康づくりの体操教室を続ける
- 健康相談の対応

### 子どもとの関わり

- 子どもたちへの読み聞かせ
- 子どもたちに声かけ・挨拶
- 帰宅時の見守り活動
- 高校・小中学校・保育所との連携で交流の場をつくる
- 子育てが一段落した人が地域の子どもや高齢者に関わる

### 地域づくり・コミュニティ形成

- 自治会がない地域では新しい形のコミュニティの場をつくる
- 隣の自治会と合併したいという意向
- イベントを通して自治会活動への呼びかけ
- 顔見知りを増やし、声かけできる関係をつくる
- 要援護者の把握
- 地域の困っている人の意見を聞いて支えたい
- 地域の情報を共有し、どこでどんな集まりがあるかを知らせる

### 地域の担い手としての意識

- 「おせっかいじいさん・ばあさん」として問題を吸い上げたい
- 地域の課題を一緒に考える
- 地域の歴史や価値を次世代に残す責任を果たしたい
- 大人としての見識を子どもたちに伝える行動を求める

### 多様なニーズへの対応

- 多様なニーズに添ったイベントやサービスをつくる
- 地区体育協会との連携

## その他の意見

### 地域活性化のアイデア

- 空き家や空き教室を活用して地域を盛り上げたい
- 地区と子どもたちが集まってイベントなどを一緒にやりたい

### 地域づくりの心構え

- 一人ひとりがみんなの幸せを願わないと地域は良くなると思う

### 伝統と文化の継承

- 伝統行事を守り、イベントとして盛り上げたい(例:八月踊り大会)
- 古き良き伝統を守りつつ、若者も高齢者も住みやすい地域にしたい

### 住民構成の理想

- 若者が住める地域にしたい
- 若者が増える地域になってほしい(経済的な特典があれば良い)
- 子どもたちが増える地域になってほしい

### 高齢者支援

- 高齢者が体を動かせる場が近くにあると良い
- 年齢を重ねても病気になっても住みやすい地域にしたい

## 地域の良いところ(上方地区)

### 地域活動・つながり

- あいさつが元気で、明るく元気な方が多い
- 各世代の組織がしっかりしており、年代ごとの団体が連携している
- 地域行事(八月踊り、敬老相撲、運動会など)が盛んで、伝統行事が年代別に継承されている
- 毎月執行部会を実施し、町内報を作成・配布して情報共有している
- 市民清掃日に各団体が場所を決めて清掃活動を行っている
- 地域の協力体制が充実しており、団結力がある
- スポーツ少年団の活動が活発
- 町内会・老人クラブ・育成会がそれぞれの役割を果たし、行事が円滑に運営されている

### 暮らしやすさ・環境

- 店や病院など生活施設がそろっている
- 公民館をよく活用している
- 一戸建て世帯が多く、安定した生活環境があり安心して暮らせる
- 新しい町で昔からのしきたりがなく、地域に気軽に入りやすい
- 自衛隊官舎ができて若い人が増え、活気が出てきた
- 朝日町では人口が増えている
- コロナ禍が終わり、ムチモレ・八月踊りが復活し大盛況だった

### 高齢者・子ども支援

- 健康教室、カラオケ、グラウンドゴルフ、サロンなど地域活動が盛ん
- 下校時の見守り活動があり、子どもたちが自らあいさつをしている
- 横断歩道を渡ったあとに礼をする子どもたちの姿が見られる
- 街路樹にランを共生させる「ラン育て隊」ボランティアが活動中
- 児童の教育活動に地域が積極的に協力している
- 民生委員を含め、町内会報を作成している
- 見守り隊の活動が定着し、地域の安全に貢献している
- 高齢者の情報提供や困りごとの共有・協力体制ができている

## 地域の困りごと

### 高齢者・孤立・見守り

- 災害時の高齢者対応に不安がある(避難の方向性が定まらない)
- 一人暮らしの高齢者が多く、声かけや見守りが難しい
- 自立している高齢者ほど支援を遠慮しがち(特に女性)
- 日常生活で悩みを相談できず、閉じこもってしまう人がいる
- 男性の地域活動参加が少なく、女性に偏りがち

## 地域活動・自治会の課題

- 地域活動への参加者が減少している
- 若い人や転入者の行事参加が少ない
- 婦人会や育成会の活動が縮小・消滅している
- 青年団への入団希望者がいない
- 市民清掃や地域行事への参加率が低い
- 町内会に加入しない人が増えている
- 忙しさに追われ、行事にゆったり参加できない

## 商業・生活利便性の低下

- 浦上にあるスーパーがなくなりそう
- バスの便が不便になり、病院受診や買い物の交通費が高額に
- 朝日町に災害時の避難場所がない

## インフラ・安全面の課題

- 街灯が少なく、登下校時の安全確保に不安がある
- 見知らぬ人が増えてきたと感じる(特に若い人)
- 集会所の老朽化・狭小で不便
- マンションが増えているが、住民同士の関係性が希薄

## 地域のつながり・意識

- 防災活動や避難訓練への関心が低い
- 他地区からのゴミ出しが多く、ゴミステーションがいっぱいになる
- 豊年祭など伝統行事への理解が若い世代に乏しい
- 地域の方向性や意見がまとまりにくい

## 行政に求めること

### 地域福祉・見守り体制の強化

- 民生委員の活動には限界があるため、地域で見守れる「場」や「仕組み」の設置を希望
- 和光町では人口が年々増加しており、住民に寄り添った活動を深めるために民生委員の増員を希望
- 困っている人の情報を把握しづらいため、情報提供の仕組みを整えてほしい
- 民生委員と個人情報保護の解釈について、明確化したい

### 地域活動・支援体制の整備

- 健康づくり推進員、町内会の見守り、民生委員などの支援者同士の横のつながりが弱い  
ため、共有方法や支援体制の整備を検討してほしい
- 地域の活動をもっとアピールしてほしい
- 職員が地域活動に積極的に参加するよう促してほしい

## 施設・設備・生活支援

- 老朽化した施設や設備の修繕支援
- 緑地の枝や草の処分を無料で行ってほしい
- 和光町のような身近に集まれる集会場の設置を希望
- 町内会費を一律にして住民税と一緒に徴収し、各町内に配分する仕組みの検討

## 情報提供・行政サービスの改善

- 市の情報をネットだけでなく、紙媒体でも提供してほしい(従来通り)
- 先生方に地域福祉への参画の必要性について伝えてほしい(学校教育への期待)

## 自分たちでできること

### 地域行事・文化継承

- 八月踊りを年代を越えて全体で楽しみ、継承していきたい
- 七夕の飾りづくりなど、季節行事への参加を促す
- 子どもと高齢者が交流する機会をつくり、文化を伝承する

### 清掃・環境美化

- 集会場および周辺の定期清掃
- ゴミステーションの掃除
- 市民清掃への参加
- 緑地のゴミ拾いなど、地域貢献活動(青パト活動)

### コミュニケーション・見守り

- 朝のあいさつ運動を実施
- 地域を散歩しながら挨拶し、顔の見える関係づくりを進める
- 子どもたちに行事への参加を促す声かけ
- 他町との交流を図り、コロナ明けのつながりを再構築
- 地域の現状を伝える手段をつくる
- 出来る範囲で助けることができると思う
- コミュニケーションを活性化させる

### 地域活動・自主組織づくり

- 公民館で月1回のおしゃべり会を開催
- 有償ボランティアの組織をつくる
- カラオケ同好会を立ち上げる
- 防犯灯の設置を進める

## その他の意見

### 安全・安心な暮らし

- 子どもから高齢者まで、誰もが安全に暮らせる上方地区にしたい
- 高齢者にやさしく、安心して暮らせる地域を目指す

### 地域のつながり・交流

- 人との交流が楽しくできる地区にしたい
- 地域連携を深め、活発な活動ができる地域づくりを進めたい

### 文化・誇りあるまちづくり

- 上方体協(体育協会)を強化し、文化活動にも広げていきたい
- 「我が町の自慢」となるようなものをつくっていきたい

## 良いところ(下方地区)

### 地域のつながり・交流

- 地域活動が盛んで、伝統行事が引き継がれている(夏祭り、運動会、もちつき大会)
- 自治会・集落・施設との連携がある
- 顔見知りが多く、挨拶を交わす文化がある
- 小中学校や駐在所との交流がある
- 登校時の見守り活動が活発
- 老人クラブや婦人会、青年団の活動が盛ん
- 世代間交流が行事を通じて生まれている
- 地域の情報がスピーディーに共有される

### 高齢者・子育て支援

- 高齢者の体操教室(週1回)、定例会(2ヶ月に1回)などがある
- 高齢者の助言や支え合いの文化がある
- 子どもたちの挨拶がよくできている
- 学童保育や子ども食堂、ラジオ体操などの活動がある
- 子育て世帯や海外からの転入者も増えている

### 自然・生活環境

- 海や川が近く、自然に囲まれている
- 公園や運動施設、病院、スーパー、郵便局などが近くにあり便利
- 環境美化活動に協力的で、家の周りにゴミがない
- 防災組織がしっかりしている

## 困っているところ

### 高齢化・孤立

- 高齢者や独居世帯が増加し、見守りが必要
- 高齢者宅を訪問しても不在が多く、つながりにくい
- 高齢者の買い物や通院が困難(免許返納後など)

### 自治会・地域活動の課題

- 自治会活動の担い手が減少、役員のなり手がいない
- 地域行事に参加する人が限られている(固定メンバー)
- 隣近所の交流が希薄になっている
- 会議や行事に参加しない住民が増えている
- 個人情報保護の観点から、困っている人の把握が難しい

### 空き家・環境問題

- 空き家対策が進まず、雑草や安全面で問題
- 放置されたゴミやバイク、草木の繁茂が目立つ

## 交通・インフラの課題

- バスの便が少なく、交通手段が限られている
- バス停の表示が分かりにくい、ベンチがない
- 歩道が狭く、落ち葉や草で歩きにくい
- 消火栓が届かない場所があり、火災時に不安
- 防災放送が聞こえない家庭がある

## 買い物・生活利便性の低下

- 生鮮食品を買いえるスーパーが遠く、荷物を持って歩く高齢者が多い
- 小売店が減少し、買い物弱者が増えている

## 行政に求めること

- 公共交通機関の充実(乗り合いタクシーなど)
- 空き家対策の推進と所有者情報の共有
- 草木の除去や海岸清掃への支援
- バス停の表示改善とベンチ設置
- 防災放送の改善(各家庭に子機設置、光るインターホンなど)
- 高齢者食堂の設置
- 市営・県営住宅の5階を垂直避難場所に
- 地域役員会への行政の参加と実情把握
- 地域課題を住民と一緒に考える機会の創出
- 地域の声を市長が直接聞くタウンミーティングの継続
- 各課の事業を庁内で共有し、自治会に提示してほしい

## 自分たちでできること

- 高齢者や独居老人への声かけ・訪問・買い物支援
- 子どもたちへの挨拶・見守り
- 地域行事や自治会活動への参加
- 防災活動・災害時の避難支援
- 地域体操教室や勉強会への参加呼びかけ
- PTAと地域活動の連携強化
- 美化活動(庭の手入れ、ゴミ捨て場の管理)
- 子ども食堂の運営支援
- 有償ボランティアの周知と活用
- 幅広い世代が交流できる場づくり
- 義務感に縛られない地域づくり
- 「住んでよかった」と思える下方地区にする

## 地域の良いところ(古見方地区)

### 伝統・行事・地域活動

- 町内会行事「八月踊り」など、伝統行事が継承されている
- 年末の集まりや健康体操を実施
- 舟こぎ祭りが盛んに行われている
- 美土里サークルや美化活動が活発
- 市民清掃の参加者は減っているが、自主的に清掃する人が多い
- 農水路の保全、農道・農地の伐採・整備など地域で協力して行っている

### 高齢者・住民の助け合い

- 高齢者が自家用野菜を育てたり、働いている
- 若い人たちによる助け合いの精神が強い
- 隣近所での声かけや助け合い(食事など)が自然に行われている
- 転入者(Uターン・Iターン)に対して親切に受け入れている
- 小さい子どもたちは「集落の宝」として大切にされている

### 地域のつながり・暮らし

- 昔からの馴染みの関係が続いている
- 世帯数が少なく、一人ひとりの状況を把握しやすい
- 顔見知りが多く、話しやすい雰囲気
- サロン活動が9ヶ所中8ヶ所で継続中
- 特にトラブルもなく、平和に暮らしている

### 自然・環境・利便性

- 自然が豊かで、野鳥のさえずりが聞こえる
- 朝日が昇る輝く集落
- 自然に囲まれ、空気がきれい
- 市内から近く、便利な立地
- 買い物(店舗・移動販売)ができる環境が近くにある
- 物々交換(野菜など)も行われている

## 地域の困りごと

### 高齢化・孤立・避難の不安

- 独居高齢者が多く、災害時の避難が心配
- 高齢化に伴い、伝統行事(八月踊りなど)の実施が難しくなっている
- 若い人の伝統文化継承活動への参加が少ない
- 敬老会や総会などに決まった人しか来ない
- 一人暮らしの高齢者だけでなく、青壮年の単身者も多く、孤立が懸念される

### 空き家・住環境の課題

- 空き家が増加し、草が生い茂ってハブなどが出る
- 空き家の中には台風時に倒壊の危険があるものもある
- 空き家が多い一方で、市営住宅は所得制限で入居できない
- 空き家や遊休地が多く、イノシシの出没もある

### 災害・インフラの不備

- 公民館前の道路が雨で冠水し、避難場所として機能しない
- 大雨時に四方八方から水が流れ込み、孤立することがある
- 崎原への裏通りで土石流が発生し、通行できない
- 小湊地区は海に近く、津波時の避難場所がない
- 農業用水が長期間断水している
- 用水路の整備が不十分な箇所がある

### 交通・生活の不便さ

- 道路や歩道に凸凹が多く、歩行が危険
- 地域内にお店が少なく、買い物が困難な人が増えている
- 近くにポストがなく、郵便物を出すために町まで行かなければならない
- あまみ FM が受信できず、災害時の情報が入りにくい

### 地域活動・自治会の課題

- 市民清掃の参加者が少ない
- 若い人が地域行事に参加しない
- 町内会に加入しない住民が増えている
- 町内会の役職を担う人がいない
- 町内会の予算が少なく、運営が困難な時がある
- 顔見知り同士であっても迷惑行為に注意しづらい
- 地域行事が減少し、一体感が薄れている

### その他の困りごと

- 畑に牛糞をまいており、臭いが気になる
- 猫の問題
- ゴミ出し日以外にゴミを出す人がいて困っている
- 交通マナーが悪く、運転に注意が必要

### 行政に求めること

#### 災害・防災・インフラ整備

- 冠水対策(河川整備)
- 公民館前の道路の冠水対策(避難場所として機能しない)
- 道路の陥没箇所の補修(転倒の危険あり)

- 道路ミラーの追加設置
- 街灯の増設(壊れて消えている箇所も多い)
- 災害対応を考える場の設置
- 防災無線や緊急無線(ベル)の設置(特に高齢者宅)
- 津波避難場所の確保(小湊地区など)

#### 交通・移動支援

- バス停にベンチや屋根の設置
- バスの無料券(5枚)制度の継続・拡充
- 高齢者向けのタクシー・バスチケットの利用支援
- 市内と同等のサービス提供(老人福祉センターへの無料バスなど)

#### 空き家・住宅・地域施設

- 空き家の活用施策の推進
- 所得制限に関係なく市営住宅に安価で住める制度の検討
- 市営住宅の新設(若者の定住促進、児童・生徒の増加を期待)
- 教員住宅の整備・増設(子どもが多い地域への教員確保)
- 空き地・空き家の草刈りや管理支援
- 相続や空き家対策に関する講演会・勉強会の開催
- 地域の集会場や資材置き場の整備支援
- 公園の整備(子どもが遊べる場所の確保、ボール遊びの安全対策)

#### 高齢者・福祉支援

- 高齢者が避難しやすいよう、近隣に避難所を設けてほしい
- 高齢者宅に音楽やラジオが聞ける機器を無償設置してほしい
- 食糧・衣類・生活用品の支援窓口の設置
- 高齢者食堂の設置
- ころばん体操などの健康支援活動の継続支援

#### 地域連携・行政の関わり

- 地域の困りごとを行政が直接聞きに来てほしい
- 地域役員会などに行政が参加し、実情を把握してほしい
- 地域住民と行政が課題を共有し、共に考える場の創出
- 市主催のイベント後の反省会の実施(住民の声を反映)
- 各課の事業を庁内で共有し、自治会に提示してほしい
- 自治会や民生委員がない地域への支援と再編の検討
- 地域住民の意見交換会やアンケートの実施

#### 教育・子育て支援

- 小中学生の確保に向けた施策の検討
- PTA や地域と連携した子育て支援の強化

## 自分たちでできること

### 清掃・美化活動

- 市民清掃への参加(暑い日は個別に実施)
- 毎日の清掃を継続し、集落の美化に努める
- 道路や歩道の草刈り範囲を広げる
- 歩道や道路の凸凹を整備する

### 健康づくり・交流

- グラウンドゴルフで体力づくり(週 2 回、海岸公園で実施)
- 通いの場に参加し、仲間づくりと健康づくりに努める
- ゆらおう会やいきいき体操を月 2 回実施
- 高齢者への積極的な声かけ(見守り活動)

### 地域づくり・コミュニケーション

- 集落内にベンチを設置し、気軽に利用できる環境づくり
- 集落民が仲良くできるよう、コミュニケーションを図る
- 集落行事への協力(港まつり、神社まつり、敬老会など)
- 伝統行事を守り続ける
- 転入者が早く地域になじめるよう、懇親会を開催
- めぐみの園入所者との交流

### 教育・地域連携

- 学校行事への協力(奄美福祉専門学校、小湊小学校など)
  - 花壇の手入れ、運動会の支援など

### 地域資源の活用・発信

- 地域マップを作成し、地元の良いところを再確認する機会にする
- 最近立ち上げた農作物加工所を活用し、イベントで地域を盛り上げる

### その他の取り組み

- 強制はせず、できることを少しずつでも続ける姿勢
- 地域のつながりを大切にしながら、無理なく協力する

## その他の意見

### 地域のつながり・支え合い

- 子どもから高齢者まで、隣近所で声かけ・支え合える地域にしたい
- 高齢者や障がいのある人にもやさしい集落を目指したい
- 一人ひとりが役割を担い、誰もが住みたくなる笑顔と優しさにあふれる地区に

### 地域の協力・特色

- 各集落が特色を持ち、協力し合ってつながる古見方地区に
- 地域住民が交流できるイベントの創出
- 困っている人が相談できる環境づくり

### 子育て・若者支援

- 子どもたちの声が聞こえる、にぎやかで活気ある街にしたい
- 若者が住みやすく、児童・生徒が増えるような地区に
- 市民体育祭で最下位を返上したい

### 高齢者支援・住みやすさ

- 高齢化率が高い(43%台)ため、もっと住みやすい地区にして人口を増やしたい

### 生活利便性・環境

- 市内に近く便利な立地を活かしたまちづくり
- 郊外型スーパーができれば人が集まり、活気が出る
- 豊かな自然に恵まれ、幸せを感じながら過ごせる場所にしたい

## 良いところ(住用地区)

### 自然・環境・観光

- マングローブや世界自然遺産センターがあり、自然が豊か
- 緑が多く空気が美味しい、鳥の声がよく聞こえる
- 川遊びや魚の観察ができる(役勝川・川内川)
- タンカン・ポンカンなど亜熱帯果樹が身近にある
- ウサギが集落内を歩いている
- マングローブパークのグラウンドゴルフ利用者が多い
- 観光客がカヌー体験などで増加中

### 地域のつながり・活動

- 地域の伝統行事が残っている
- 子どもから高齢者まで集落行事に参加し、世代間交流がある
- 子どもたちのあいさつが良い
- 集落と学校が連携し、子どもの見守りにつながっている
- 区長・民生委員に相談しやすい
- 月1回、集落総出で清掃を実施
- 情報が得やすく、困ったときに支援センターと連携できる

### 高齢者・子育て支援

- 認定こども園が新設予定
- 西原老人会が支所前の花壇を手入れしている
- 有償ボランティアがうまく運用されている(ゴミ出し手伝いなど)
- 母の会が立哨活動を実施
- 花いっぱい活動が盛ん

### 生活利便性・交通

- 三太郎タクシーがうまく運用されている
- 移動販売車が週2回来て助かっている
- おいしい定食屋がある
- 他地区からの立ち寄り者が増えている(施設やイベントの活性化)

## 困っているところ

### 高齢化・孤立

- 独居高齢者が増加、見守りが難しい(特に男性)
- 救急時に連絡ができないケースがある
- 高齢者や近所の人が集まる場所が少ない
- 高齢者娯楽施設が不足している
- 地域のつながりが薄れつつある

- ボランティアの担い手不足
- 地域活動に参加しない住民がいる

#### 空き家・環境問題

- 空き家が多く、台風時に危険
- 空き家の管理放棄による近隣トラブル
- 農地が放置されている
- 道路の草刈りが不十分

#### 商業・生活利便性の低下

- 商店・飲食店・ガソリンスタンドが減少
- 農産物の販売場所が少ない
- 子どもの声が聞こえず、人口減少が進行
- 学校の統廃合問題

#### 情報・通信・交通

- 地域の電波状況が悪く、Wi-Fi も不安定
- 市の放送が聞き取りにくい
- 交通の便が悪い(バスが少ない)

#### 行政に求めること

- 冠水・避難経路の明確化(台風・津波時)
- 公民館等の修繕費支援
- 空き家利活用に向けた行政との連携強化
- 月に数回、名瀬まで三太郎タクシーを運行してほしい
- バス(15人乗り程度)の導入
- 街灯周辺の樹木伐採
- 行政と住民の意見交換の場を設けてほしい
- 団体活動への資金支援
- 情報周知・広報の強化(例:奄美市だよりの住用町ページの充実)
- 意見箱の設置
- 小グループでの事業立ち上げノウハウの提供
- 若い夫婦が入居しやすい住宅の整備
- 学校の先生や行政職員が地域に住み、行事に参加してほしい
- 料理教室や男性向けの生活教養講座の開催
- 保険料の軽減支援

### 自分たちでできること

- 見守り体制づくり(声かけ・安否確認)
- 行事の継続とボランティア参加の促進
- 学校行事への協力
- サロン・ゆらい処の設置
- 郵便物のたまり具合で安否確認
- 空き家情報の共有と紹介
- 島唄・八月踊りなどの伝承活動
- 自主的な楽しみ事やイベントの企画・実施
- ゆいの精神をつなげていく
- 自分たちでできることは自分たちでやるという意識

### こんな住用地区にしたい

- 誰とでも仲良くふれあえる住用地区
- 自分たちでつくって支え合う、活気ある地域
- 幸せを感じながら暮らせる、自然豊かな場所

## 良いところ(笠利地区)

### 地域のつながり・交流

- 地域住民の繋がりがあある
- 地域行事、清掃などは多くの集落で取り組んでいる
- 隣近所のサポートが充実しているから、困りごとを聞かない。共助体制ができている
- 見守り体制ができている

### 高齢者・子育て支援

- 高齢者のゴミ出し、見守りが、今のところ近所のサポートにより上手くいっている
- 高齢者の体操教室(週1回)、定例会(2ヶ月に1回)などがある

## 困っているところ

### 高齢化・孤立

- 人口減少により、若者(高校生以下)が少ない集落もある。10~20年後が心配
- 唄者が高齢化してしまっている
- 奄美祭りの郷友会が高齢化してきている
- 高齢化が進み、老々介護が見られる。一人暮らしが増えてきている
- 定年延長により、ボランティア参加者が高齢者ばかりになった

### 自治会・地域活動の課題

- 区長や民生委員が中心となり様々なことに取り組んでいるが、負担が大きい
- 週末の行事が多すぎて大変
- 後任が見つからない。若い人に継いで欲しい
- 情報共有・ネットワークについて、うまくいっていない点がある。老人クラブや婦人会、青年団などがそれぞれで活動しており、連携できていないことがある

### 空き家・環境問題

- 一番の課題は空き家対策

### 交通・インフラの課題

- コミュニティバスが毎週水曜・日曜が休みのため、困っている

### 買い物・生活利便性の低下

- 移動販売車が故障中で困っている

## 行政に求めること

- 奄美祭りの郷友会受入れ体制の充実
- 地域福祉計画について、周知の拡充
- 情報受取り側に寄り添った発信の工夫
- 相談窓口の周知
- 公民館の放送が聞き取りにくい

- ワンストップ窓口(支所)の体制づくり
- 認知症関連の助成が欲しい

### 自分たちでできること

- 八月踊りが開けない集落で、代わりに祭りの開催(実績有り)
- 島唄保存活動
- 国保診療所によるボランティア(墓参り、草刈り、買い物、島料理教室)への協力
- 介護事業所が地域貢献の一環として、買い物サロンを行い、月に1回、集落単位で交流の場になっている
- 若い人がボランティアに参加しやすい環境づくりが大切